

エレガンスを意識して布帛(右)も提案した「スラリラパンツ」



サステイナブル企画を拡充

小泉アパレル22年春夏 着やすく扱いやすく

小泉アパレルは22年春夏物で、サステイナブル（持続可能）なりラックスウェア企画「イツデモドコデモ」（イツドコ）の販売を始める。綿や麻で盛夏中心だったインド製品に、生分解性を持つ環境循環型繊維のインドレーヨンを加えて3シーズンに対応する。

イツドコはレーヨン生地の目付けのグラム数を上げて、しなやかさととろみを増し、さらに職人の手作業での洗い加工で心地良い触感と膨らみを出した。サステイナブルとともに、気軽に着用できるイメージを強めて購買に導くために、接触冷感やUV（紫外線）対策、通気性の良さ、家庭洗濯可能も店頭で強くアピールする。

アイテムは室内着、ワンマイル両用のベーシックなデザインのブラウス、ワンピース、チュニック、ワイドパンツなど。中心価格帯は本体1900～2900円。インド製らしく手の込んだハンドプリーツのスカート（2980円）もある。無地を中心にポイントとして北欧風、幾何学柄、エスニック柄を差し込む。春、夏、初秋それぞれのテーマカラーを明確にして、売り場の変化がわかりやすく、鮮度を出せる企画となっている。

2年目に入った「オーガニックライフ」はSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みの高まりを受けて好調な売れ行きを示している。綿製品はオーガニック国際基準のOCS認証をインドと日本で受け、さらに消費者に安心と安全を与えるためにトレーサビリティ（履歴管理）プロジェクトを開始。現地工場との協力を強め、綿花栽培、紡績、縫製といった物作りの見える化に取り組んだ。



ベーシックなデザインで他アイテムとの相性を高めた「オーガニックライフ」

单品それぞれをブラッシュアップするとともに、カットソーは新たに月別MDとした。通年で売り場を確保し、オーガニックライフ企画の認知度を高める狙いがある。対象年齢を定めないベーシックデザインで、シャツやワンピースとのコーディネートを強調する。

ボトムでは、ペットボトル再生ポリエステルを使い、すらりと見えてリラックスしてはける「スラリラパンツ」（予定価格2980円）を販売する。コロナ禍が終息すればエレガンスが強まるとして、主力のニット以外に布帛も用意した。スラリラパンツもサステイナブルだけでなく、ツーウェーストレッチ、ウエストゴム、防しわ加工、家庭洗濯可能など、着やすさと扱いやすさも強調して購買につなげていく。